

所属	人間社会学部・人間形成学科	職名	教授	氏名	福田 恭介
----	---------------	----	----	----	-------

1. 教員紹介・主な研究分野

1984年九州大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学後、1986年に同大学より文学博士の学位取得。佐賀女子短期大学に講師、助教授として勤務後、1993年に本学に着任。その間、ペアレントトレーニングの研究開発に肥前精神医療センターで携わる一方で、2003年から1年間アメリカ合衆国ワシントン大学（セントルイス）で客員教授としてまばたき研究に従事。

現在、2つの研究に従事している。1つはまばたき研究、これまで、まばたきが目の保護・防衛のため反射的に生じているだけでなく、ヒトの心理過程と関連して生じていることを明らかにしている。何らかの刺激を見せたり聞かせたりすると、その直後にまばたきが生じることを発見し、その生じ方が、その人にとってどれくらい重要かによって変化することをいろいろな実験によって明らかにしてきている。このことは、その人に何が重要であるかをまばたきで知ることができる可能性を秘めている。もう1つは、ペアレントトレーニングの研究開発。発達に遅れを持つ子どもの親を、自分の子どもの療育者として仕立て上げるために、さまざまな養育技法を親に教えている。これを通して、親の子どもを見る目が変わり、親としての自信を回復している。このような取り組みを、保育園や学校の先生方にも知ってもらうことが有効であることがわかり、多くの啓発活動を行っている。このことにより、全ての子どもが自尊感情を持って生活できるようなることを目指している。

2. 研究業績

①最近の論文

- ・ 福田恭介・早見武人・志堂寺和則・松尾太加志 「ビジランス課題中における持続性瞬目と一過性瞬目」 福岡県立大学人間社会学部紀要 (2007) 15 (2), 27-35.
- ・ 藤本夏美・福田恭介 「ペアレントトレーニング情報提供による4歳児をもつ親の養育態度の変化」 福岡県立大学人間社会学部紀要 (2007) 17, 27-35.
- ・ Kyosuke Fukuda, Takehito Hayami, Kazunori Shidoji, & Takashi Matsuo (2008). The effect of stimulus location and Inter-Stimulus Intervals (ISI) upon blink activity. *International Journal of Psychophysiology*, 69, 229-230.
- ・ 福田恭介・文屋俊子・夏原和美・宮崎昭夫 「学生による比喩表現を用いた現実と理想の授業評価」 福岡県立大学人間社会学部紀要(2009) 17 (2) 81-93.
- ・ 福田恭介 「かんしゃくを起こす小学生男児に対するペアレントトレーニング」 福岡県立大学心理臨床研究 (2009) 創刊号 13-19.
- ・ 藤本夏美・福田恭介 「ペアレントトレーニング情報提供が乳幼児をもつ親の養育態度に及ぼす影響」 福岡県立大学心理臨床研究 (2009) 創刊号 31-42.
- ・ 吉岡和子・福田恭介・中藤広美 「保育・教育現場における特別支援へのペアレントトレーニングの応用」 福岡県立大学心理臨床研究 (2010) 2 (印刷中)

②その他最近の業績

<調査研究報告書>

- ・ 福田恭介・早見武人・志堂寺和則・松尾太加志 「記憶負荷を伴うビジランス多重課題中における瞬目活動」平成18年度～平成19年度学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C) 研究成果報告書 (2008) 91頁

<シンポジウム>

- ・ K. Fukuda as a Discussant in “Psychophysiology of Ocular Phenomena” *The 14th World Congress of Psychophysiology* (2008) 12th September, St. Petersburg Russia

<テレビ出演>

- ・ 福田恭介 NHK総合テレビ「解体新ショー」出演 2008年1月19日放送

<学会報告>

- ・ 福田恭介・早見武人・志堂寺和則・松尾太加志 刺激のヒット時とミス時における瞬目活動 第25回日本生理心理学会大会 北海道大学 (2007)7月16日
- ・ 福田恭介・早見武人・志堂寺和則・松尾太加志 周辺刺激・中心刺激注視時における内因性瞬目 日本心理学会第71回大会 東洋大学 (2007)9月18日
- ・ 福田恭介・児玉紗織・早見武人・志堂寺和則・松尾太加志 「7」と「seven」を見たときどちらに速くまばたきするか—一桁の数文字刺激・英数文字刺激提示時における瞬目潜時—第16回まばたき研究会 大阪人間科学大学(2008)3月24日
- ・ 早見武人・福田恭介・松尾太加志・志堂寺和則,瞬目入力作業が瞬目パターンに与える影響,第26回日本生理心理学会, 琉球大学2008年7月5日
- ・ 福田恭介・早見武人・志堂寺和則・松尾太加志,英語・アラビア数字の奇数・偶数弁別課題における瞬目潜時と反応時間,第26回日本生理心理学会,2008年7月5日
- ・ K. Fukuda, T. Hayami, K. Shidoji, T. Matsuo. The effect of stimulus location and inter-stimulus intervals (ISI) upon blink activity, *The 14th World Congress of Psychophysiology*, 2008年9月9日. St. Petersburg Russia
- ・ 福田恭介・早見武人・志堂寺和則・松尾太加志,処理時間と瞬目潜時, 日本心理学会第72回大会, 2008.09.20
- ・ 76. 森下万貴子・福田恭介 ペアレントトレーニングの考え方の学校現場への応用, 九州心理学会第70回大会, 2009.12.06

③過去の主要業績

- ・ 田多英興・山田富美雄・福田恭介「まばたきの心理学—瞬目行動の研究を総括する—」289頁 (1991/2) 北大路書房 (京都)
- ・ 免田 賢・伊藤啓介・大隈紘子・中野俊明・陣内咲子・温泉美雪・福田恭介・山上敏子「お母さんの学習室」199頁 (1998/11) 二瓶社 (大阪)
- ・ K. Fukuda Eye blinks: New indices of detection of deception. *International Journal of Psychophysiology*. 40, (2001), 239-245.

3. 外部研究資金

- ・ なし

4. 受賞

- ・ なし

5. 所属学会

- ・ 日本生理心理学会 (編集委員)
- ・ 九州心理学会, 日本心理学会, Society of Psychophysiological Research (SPR), 日本行動療法学会, 日本心理臨床学会会員

6. 担当授業科目

<学部>

- ・ 教養演習・1単位・1年, 実験測定法Ⅰ・2単位・2年・前期, 実験測定法Ⅱ・2単位・2年・後期, 教育心理学概論・2単位・2年・後期, 知覚心理学・2単位・3年・前期, 認知心理学・2単位・3年・後期, 演習・2単位・3年後期・4年前期, 卒業論文・6単位・4年・後期

<大学院>

- ・ 臨床心理基礎実習・2単位・修士1年・通年, 心理学研究法特論・2単位・修士1年・前期, 認知心理学特論・2単位・修士1年・後期, 臨床心理実習(学内)・1単位・修士2年・通年, 臨床心理実習(施設)・1単位・修士2年・前期, 特別研究・4単

位・修士1・2年通年

7. 社会貢献活動

- ・ 日本学術振興会特別研究員等審査会・専門委員

8. 学外講義・講演

- ・ 直方養護学校PTA研修会「発達障害をもつ子どものかかわりについて」2009年7月6日 福岡県立直方養護学校
- ・ 福岡県保育士会研究部会「ペアレントトレーニングの考えに基づいた保育実践スキルアップ」2009年7月24日 春日市クローバープラザ
- ・ わたる会講演会「子育て上手な親をめざして」2009年8月2日 行橋市ウィズゆくはし
- ・ 教員免許講習会「特別支援教育へのペアレントトレーニングの考え方の応用」2009年9月6日福岡県立大学
- ・ 出前授業「心理学入門」2009年10月9日 福岡県立八幡中央高等学校
- ・ 産業カウンセラーシニアコース講座「教育指導」2010年1月24日 岡山市みのるガーデン
- ・ 豊前市学校・園人権教育研究会「保育・教育に活かすペアレントトレーニングの考え」2010年2月8日 豊前市役所
- ・ 2009年度人権教育研究集会 助言者 2010年2月16日 行橋市立中京中学校
- ・ 京築地区 学校経営研究会 第3回研修会「教育に活かすペアレントトレーニングの考え」2010年2月20日 豊前市築城館

9. 附属研究所の活動等

- ・ 「お父さんとお母さんの学習室（ペアレントトレーニング）」の企画と運営
- ・ 「教師・保育士のための特別支援教育スキルアッププログラム」の企画と運営